九州大学学術情報リポジトリ Kyushu University Institutional Repository

[015]雅俗表紙奥付等

 $\verb|https://hdl.handle.net/2324/4785217|$

出版情報:雅俗. 15, 2016-07-30. 雅俗の会

バージョン: 権利関係:

丹羽 中野 高杉 白石 吉良 菊池 大久保順子 良夫 史明 恵 謙 里 治 三敏 志緒 庸介 基 沼尻 中山 高橋 久保田啓一 ロバート キャンベル 美恵 右尚 昌彦 修多 利通 康子 古賀 川平 田中 道雄 豊

西浦 白塩瀬村 清登 尾崎 田邉菜穂子 榮辰 典子 服部 中森 末安 清水 神永 合山林太郎 工藤いずみ 礼奈 康之 俊隆 明秀 絵美 暁 中山 勢田 神野 佐方 工藤 花田富二夫 岡田万里子 章子 成一 道生

(賛助同人)

古平浜相山田

牧野 宏子 廣瀬千紗子

松村 藤沢

美奈

毅

三ツ松誠

泰彦

野稿の好評連載です。▼昨年末、中野三敏先生の傘寿 の富商逸人の俳諧活動を論じる。絵画史的にも興味深 な受容にとどまらないことが分かる。服部稿は、尾張 の一門における袁中郎テキストの校勘を論じたのは合 世紀佐賀の儒学者武富廉斎を取り上げた中山稿は、こ ですが、講読会員の方でも、興味がある方はご購入い をお祝いした『雅俗小径』なる小冊子を、有志による 感じ。「私の研究履歴」は濱田啓介氏。鹿児島大時代の 鷲見文庫紹介は今回でひとまずの満尾、川平稿はよう るかにおとれり」。こういう刺激的発言にあふれる小津 研究ノート。「今の歌人は意中俗にて、俳諧の雅にはは 田稿である。この方面の基本的文献となろう。▼次に それが我が国の律僧に受容された様相を論じたのが西 い。『陰騭録』『自知録』といった善書の中身を解説し、 山稿。この時期のそれが、いわゆる「性霊説」の単純 有効であることを証明してくれる。山本北山およびそ の時期の儒学者を考えるうえで、「和漢」という視座が ただけます。詳細は一三四頁をご参照下さい。 にて買い上げ、同人諸子にはすでにお配りしたところ 刊行会を立ち上げて、発刊した。その一部は雅俗の会 (手紙の会)、先学の筆跡からその御人柄が偲ばれる中 前の国学者青柳種信が遠州の内山真龍に当てた書簡 苦楽が回想されていて、しみじみとする。これに、筑 衰記)貫之乃夢』という外題の黄表紙でも書けそうな 第二回は、いりぐちあつし氏の野心作。『〈平仮名/盛 の逸品を紹介する。▼学術エッセイ「学問のいりぐち」 よう三の折に入るところ。板坂稿は熱海温泉の紀行中 久足の歌学随筆。菱岡稿五九頁を看るべし。白石稿の 『雅俗』第十五号をお届けします。▼論考は四本。十七

雅 俗 第十五号

平成二十八年七月三十日

高橋昌彦

■編集委員会

菊池庸介 **菱岡憲司** 川平敏文 亀井

雅俗の会 (事務局) 九州大学文学部 川平研究室内福岡市東区箱崎六-一九-一十八二-八五八一 e-mail: gazoku2@gmail.com 電話 092-642-2419

印刷所

城島印刷株式会社 〒八一〇-00一二 福岡市中央区白金二-九-六